

1

田辺三菱製薬株式会社

	各社の考え方
① 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none">● 中長期的な環境負荷削減目標を設定、削減施策を実行し、パリ協定の目標を達成することで持続可能な地球環境の実現に貢献する。● 当社グループのサプライチェーン排出量の全体像を把握することで施策の検討に繋げる。
② 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none">● 当社グループのサプライチェーン排出量の削減目標設定に活用する。● サプライヤーとの協業的取り組みの推進に活用する。● サステナビリティ報告や各種アンケート調査による情報開示の際に活用する。
③ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none">● カテゴリごとの数値を「見える化」することで、より正確な情報を開示するとともに効果的な対策の検討が可能になる。
④ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none">● 当社グループの経理・調達物流・総務・人事部門などからデータを収集し、コーポレートの環境部門で算定。

2

田辺三菱製薬株式会社

	各社の考え方
⑤ サプライチェーン 排出量の削減に 向けて	<ul style="list-style-type: none">● カテゴリ1が、Scope3の80%以上を占めることから、削減対象の第一候補として取り組みを推進する。（施策については今後検討）
⑥ サプライチェーン 排出量算定の 課題	<ul style="list-style-type: none">● カテゴリ1の原材料重量、カテゴリ9の製品出荷重量及び出荷先までの距離(トンキロ)について全体像を把握するのに時間がかかる。
⑦ その他 (任意)	

3

田辺三菱製薬株式会社

カテゴリ	算定方法 ※算定対象期間：2021年4月～2022年3月	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 原材料・製品の購入金額	● 購入金額当りの原単位(※1)
カテゴリ2「資本財」	● 固定資産の購入金額	● 購入金額当りの原単位(※1)
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● エネルギー種別ごとの使用量	● エネルギー使用量当りの排出原単位(電力 ※1、その他燃料 ※2)
カテゴリ4「輸送、配送（上流）」	● 上流配送(荷主が当社)における製品出荷重量及び出荷先までの距離(トンキロ) ● 保管拠点のエネルギー使用量	● 輸送種別に関する排出原単位(※1) ● 電気事業者別排出原単位(電気事業者別排出係数「環境省・経済産業省 R2.1.7公表」)
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物種別、処理方法別の排出重量	● 廃棄物種類・処理方法別排出原単位(※1)
カテゴリ6「出張」	● 従業員数	● 輸送種別に関する排出原単位(※1)
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 交通費支給額	● 交通費支給額当りの排出原単位(※1)
カテゴリ8「リース資産（上流）」	● 該当なし（スコープ1,2に含める）	● -

※1：サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.1）

※2：LCIデータベース（IDEAv2.3）

4

田辺三菱製薬株式会社

カテゴリ	算定方法	※算定対象期間：2021年4月～2022年3月
	活動量	原単位
カテゴリ9「輸送、配送（下流）」	● [未算定] 下流配送(荷主が他社)における製品出荷重量と出荷先までの距離(トンキロ)、及び保管拠点のエネルギー使用量	● -
カテゴリ10「販売した製品の加工」	● [未算定] 原薬など中間製品の販売量	● -
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● 該当なし	● -
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 製品の容器包装重量	● 廃棄物種類別原単位(※1)
カテゴリ13「リース資産（下流）」	● [未算定] 賃貸リース資産の運用	● -
カテゴリ14「フランチャイズ」	● 該当なし	● -
カテゴリ15「投資」	● [未算定] 株式純投資額	● -
「その他」	● 該当なし	● -

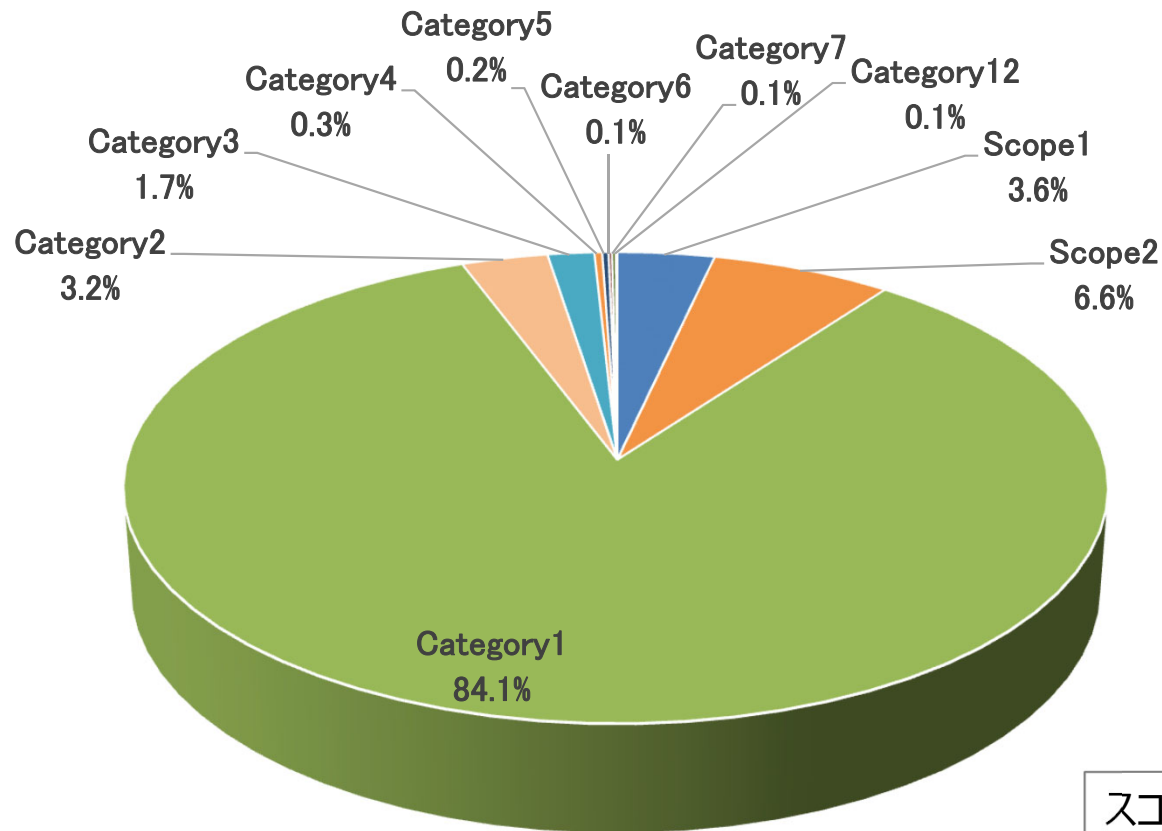
※1：サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (Ver.3.1)

※2：LCIデータベース (IDEAv2.3)

5

田辺三菱製薬株式会社

サプライチェーン排出量算定結果



スコープ1 : 24,928 [tCO2]
 スコープ2 : 46,475 [tCO2]
 スコープ3 : 628,926 [tCO2]